



予防歯科を 重視する診療に徹し、 患者のデンタルIQの 向上に努める

大阪にある「田中歯科医院」は、官庁街にも近いオフィスビルにある。予防歯科を重視する診療を続け、2018年5月にリニューアルを実施した。歯科医院の始まりから現在まで、その歩みを伺ってみた。



田中歯科医院 院長 田中 秀直 先生

時代の変化を見据えて 予防重視の歯科医院を開業

「田中歯科医院」は、オフィスビルの3階にある。玄関を開けると、真っ白なソファが並ぶ広々とした待合室が迎えてくれる。受付の奥にはレントゲン室と4つの個室。その奥に並ぶのは、パーティーで仕切られた予防・メンテナンス用の3つのチェアだ。

診療室はここまでかと思いきや、カウンセリングルームを挟んで、さらに歯科医院は続いている。パーティーで仕切られた2つのチェアは、「予防サロン」と名づけられたスペース。その近くに総合滅菌室、セミナー室や医局もある。

歯科医院が細長い構造になったのは、患者の増加に対応するため、隣のオフィススペースも借りる必要が出てきたからだ。2018年5月、歯科医院の拡張に合わせて、内装も全面的にリニューアルした。

「勤務医が7名、歯科衛生士がパートも含めて8名、受付と歯科助手を合わせて5名が働いています。受付からはそう大きな歯科医院に見えませんが、じつは大所帯なんです」と田中秀直院長は微笑んだ。

田中歯科医院が開院したのは、2007年。田中院長は、大阪歯科大学大学院歯学研究科で口腔衛生学を学び、

同大付属病院予防歯科で働いた後、複数の歯科医院の勤務を経て開業した。

「私が予防歯科に興味を持ったのは大学時代です。予防歯科の教授が「川の流れは川下で濁って大きく広がり、対応が大変になる。上流でしっかり清流を確保することが大切」とおっしゃったことに感銘を受けたのがきっかけでした」

「う蝕の洪水」と言われた高度経済成長期に比べると減ってはきたが、それでもまだ虫歯治療を目的に通院する患者は多かった。田中院長は、虫歯や歯周病で歯を失いかけてから対処するのではなく、歯にトラブルが起こる前にしっかりと管理することが重要と深く胸に刻むことになったのである。

「予防歯科を専門に学んだ大学院時代には、これから予防の時代が来るとははっきりと認識していました。開業は、まさにデンタルIQがようやく上がりつつある頃だったのです」

歯科治療の信念を持ち 患者への啓蒙を根気強く続ける

とはいえ、開業してすぐに予防歯科を中心に診療ができたわけではない。しばらくは、虫歯の治療を求める患者のほうが多かった。



玄関前のサインはバックライトを効果的に使用



ゆったりと柔らかい印象の待合室



待合室の壁面を活用した口腔ケアグッズと雑誌コーナー